常磐毎日新聞

日刊

七月十九日夕刊

定價 一部金貳錢・一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料 普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社（振替口座）東京四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は南の風晴
明日も南の風晴

出征軍人に對して 日給の六割を贈與
遺家族も自治會が助力
入山炭礦の銃後の守援
劃期的試み

入山炭礦は國防の第一戰に立つ强武者の銃後の支援として出征者に對し日給の六割を支給すると共にこの遺家族に對しても同礦自治會及び在鄉軍人分會が援助する事になつたがこれは常磐炭礦の劃期的な軍事支援であり其他各炭礦も此の例に從つて夫々機宜の方法を講ずであらうと見られてゐる

準戰時に斷乎！ 擧國一致の烽火
赤誠をこめて稿ふ
獻金や慰問袋續々

風雲の北支に駐屯せる皇軍の勞苦を稿はんものとして老幼男女を問はず獻金や慰問袋に國民の赤誠をこめて準戰時の斷乎たる意氣込みに燃え立つ擧國一致の頼もしい炬火は俄然磐陽の一角にも點ぜられ日夜續々として申込みが相次ぐ……此の銃後の熾烈な支援あつてこそ皇軍は遠く異境に在つて祖國を背負ひ奮戰出來るのである

君外一同は慰問袋三袋、同南町三二上田邦彦(一二)同敏(六)の兄弟は各一袋を又市内仲間町横山キクさんは相馬郡小高神社の御神符百体寄贈

八幡神社 社司から

飯野八幡神社々司飯野盛男氏は在滿兵慰問金に十圓を市役所へ

平第一校 耐熱行軍

平第一校は來る二十七日全校兒童の耐熱行軍を催す事となり目下コース其他計劃を進めてゐる

無事故で―― 受けた表彰金

入山炭礦第四坑從業員四百三十九名は去る一日から一週間行はれた安全週間の際に受けた無事故表彰金九十九圓を時局柄滿洲や北支にあつて辛酸を嘗めてゐる皇軍の慰問費にして下さいとて差出したので係長比佐源造氏が感激一圓を加へて合計百圓とし今十九日東朝平通信部へ寄託した

匿名で寄附 平署の受付に

十八日平署を訪れこれを國防費の一部にあてゝ下さいとて金五圓を同署の窓口に置いて名も告げずに立去つた商人風の男があつた調べた結果市內南町三〇雜貨商佐々木久助さんと判つたが又今十九日朝も匿名で一圓を醵金した學生がある

選炭係の苦汗を 國防獻金に寄託

入山炭礦選炭係一同は六十圓を醵出國防獻金として東日平通信部へ寄託した

少年團員 赤誠を獻く

平少年團の泊班者齋英術

稻葉が白くなる
山間部に奇病發生

本郡三阪村山間部地方水田に昨今稻葉が白くなる病害が發生し現在は僅か一町步程度の被害であるが、ます〱蔓延の懼れがあるため十四日農事試驗分場の技手が同地に出張調査したが、それは〃白葉枯病〃に似たもので今まで關西地方にはたま〱發生したが東北地方には全く珍らしいものである 山間部水田の排水不完全から發生したものと見られ分蘖や發育の上に非常に影響があり、このまゝ推移すれば枯死することになるため憂慮されてゐる、尙ほこれが豫防方法としては今のところボールド液の撒布以外になく縣農事試驗場及び同郡農會では對策を研究中である

平市聯合靑年團 昨日創立總會開く
駐支司令官に打電

既報平市聯合靑年團の創立總會は昨十八日午後二時半から第一校講堂に開催、靑天目源一郞氏の開辭に次いで國歌合唱、宮城遙拜、令旨捧讀後創立委員長山崎忠兵衞氏の經過報告あつて議事に入り團則制定役員の選擧を行つたが左の如く決定した

△團長山崎忠兵衞△副團長靑天目源一郞、鈴木政一△幹事各町靑年團長(平一七、平窪五)

尙緊急動議により支那駐屯軍司令官香月中將宛閣下の御苦勞を謝し將兵御一同の御奮鬪を祈るとの激勵電報を打つた

教育總會 平第一校に

石城教育部會の總集會は來る八月五日平第一校講堂に開かれる

市吏員退職

平市役所書記松本治郞、同書記補古市隆則の兩氏はいづれも此程病氣退職した

月曜是非

小會派と 正副議長

新市會の各會派は、正副議長の椅子を巡つて、デリケートな動きを見せて居る。此の椅子の割當が明朗市會の動向に、或る種の示唆を與へるものである處に、市民の關心はつながれ、その終局に多大な注目を覓めて居る然も各會派の分野は政友舊の市政會六、同新の革新會六、民政野崎派の新興會七、同荻原派の一新會四、中立六、無産一の色分けで、新興會の一名リード以外は勢力伯仲の間柄にあり、相互ひに牽制し合つて、一會派の獨斷專行を許さず、正に虎視眈々たる睨み合ひの姿である。

此處に吾人は微妙な興味を觀取する、是れが若し數に於て大勢を支配し得る會派が毅然と控えて居たとすれば、その威力に壓倒された他の小會派は、一擧手一投足の自由も悉く拘束され、たゞ單に『多數黨横暴』の悲鳴に終始して、僅かに欝憤を洩らす以外に途はない。

然るに新市會は、横暴な多數黨の出現を阻止し全く五分々々の力に依つて市政の收拾に當らしむべく小會派をバラ撒いた是れは確かに新市民の意志の現れである。

從つて正副議長の問題も、決定迄には多少の複雜性がないとも見られぬ然れ共、多數黨が一刀兩斷的に大勢を左右して平然たり得た型から脫去し眞に至公至平の立場から互ひに切瑳琢磨して、自他共に許し得る境地に善所し能ふべくんば、獨り正副議長の問題に止どまらず、市政のあらゆる場合に遭遇して、小會派の對立關係は、必らず良き結果を擧ぐる上に力があると期待するに憚らない

殊に新興會といへ、革新會、又は一新會といへ何れも其の會稱に革新更新の字義の存するを見る時、躍進平市の初市會に對する抱負の暗示として何かなし生々潑溂の氣の漲るを見る。吾人は先づ市政の三番叟たるべき正副議長の問題に、此の意氣を以つて善所さるゝ事を新議員諸公に望みたい

鈴木醫院 平市田町 電話五八番

雄英豐臣秀吉と その家庭【二】

磐中敎諭 中島茂

これが彼が日本を平定するばかりでなく朝鮮支那までも併呑しようとの考があつたから事實に於て大名の一にはもとより眼中になかつたのであります。佐々成政の如きは先に勝家と結び、後秀吉に降り次で信雄と結んで秀吉をはかつたが、それでも秀吉は平氣で許してゐるのであります。小牧長久平の戰に家康の將榊原康政が秀吉の罪惡をあげ家康が大義によつて兵を擧げたことを宣傳するや秀吉は一時其の首に賞金をかけたが講和後上洛すると却つて康政の家康に忠義なことを賞して式部大輔に任ぜしめた如きは勝家討伐に豪傑佐久間玄蕃の臣玄蕃を生捕して秀吉の恩賞に與らんとした時、秀吉は部下に武士道をといて衆の面前で死刑を執行しましたのと同一であります。

彼が『人を殺すのを厭へ給へり昨日まで敵なりとも今日降參すれば其儘助け置く也』と云はれてゐるのでも分ります。秀吉に最後まで命がけの友人や家臣が多かつたのはそのためであつたのであります。後年關原の戰に秀吉の恩顧を唱へ西軍に味方した雄藩島津安喜多長曾我部、毛利等が多かつたことは決して故なしとしないのであります。

日本では信長がその臣光秀に殺され、西洋ではローマのシーザーが議員元老院で殺され、その本當の臣下や友人の味を知らなかつたのに比較するとどれ位秀吉は幸福であつたか分りません。信長の時絶えなかつた謀反が秀吉の世になつて皆無になつたのは秀吉が一度從へば眞情を以て之に接し赤心を人腹においたからであります。賤ケ岳に勝家を敗つて府中城に利家を訪れるや而も只一騎『是は筑前守じや見知りたるか鐵砲打つな』と悠々城へ入り『冷飯候はゞ下さるべし』と柴田征伐に出て行くこの精神的氣品が賴母しいのであります。彼が時々身輕な扮裝で諸處微行することがあつたら前田玄以が諫めると秀吉は『天下に私に優るやうな主人は今迄に一人もないではないか、誰が叛くものか』と云つてゐる位、その氣宇は廣く心から人を動かすと云ふ風でありました。同時に又物事にこだはらないで至極『平凡な偉大』が秀吉には多々ありました。

溺れて假死の 子を海に救ふ
人工呼吸で漸く蘇生

江名町永崎江名實業公民學校助教諭齋藤善七(三〇)氏及び同校二年生豊間村字原町菊太郞氏長男大峯房之助(一七)君は去る十二日午後二時頃生徒七名と築港內で遊泳中江名町字北町小川文雄(八)君が危く溺れかゝつてゐたのを發見、兩名で救ひ上げ人口呼吸で蘇生させた事此程判明兩親は勿論附近の人々から感謝されてゐる尙平署は今十九日表彰方を縣に上申した 善七氏は海軍一等水兵で除隊後同校の助教諭となつた人である

雇はれて早々 「ステツキ亂暴」

赤井村錐田無職磯上義雄(三〇)は今十九日平署で本田司法主任の取調べを受けてゐるが、同人は昨十八日午後六時頃湯本町三函瀨戸飯場に雇はれることゝなり訪れた際居合せた三原辰治(四七)さんと些細の事から口論の末ステツキで三原の頭部や腹部を毆打したもの

炎熱の下に 息詰る熱戰！
磐炭逐に優勝

[illegible]通り球界の豪華版――磐城審判協會主催、東朝平通信部後援の磐陽野球大會準決勝及び決勝戰は既報の如く昨十八日磐炭金坂球場に擧行された、灼熱の下息詰る熱戰を演じ殊に磐炭對平鐵の決勝戰は終始シーソーゲームを展開萬餘の觀衆を魅了せしめたが磐炭補回戰に入り五對四で逐に優勝榮ある優勝旗を獲得した

△準決勝高月(磐中)―磐炭午前十時半から佐藤武(球)佐藤信、熊、水竹の四氏審判の下に高月先攻で開始兩軍共打棒大いに奮ひファインプレー續出していづれとも決しかねたが高月最後の攻擊も奏効せず十七對十五で惜しくも敗る、閉戰十二時五十分

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
磐炭	3	0	6	2	0	2	4	0	A	17
高月	1	2	1	0	8	0	3	0	0	15

△決勝戰磐炭―平鐵午後二時半から石坂(球)熊、水竹、佐藤信の四氏審判の下に平鐵先攻で開始五時近く閉戰兩軍共劈頭から投手戰となり又守備力均等して接戰を演じ延長又延長文字通りの激戰を展開觀衆を熱狂せしめたが逐に五對四で磐炭に凱歌擧がる

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
磐炭	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	5
平鐵	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4

遞友破る
福島出場の

既報昨十八日福島市營球場に擧行された遞信野球大會縣下豫選に出場した平遞友クラブは第一回戰に郡山と對戰奮戰したがコンデーシヨン頗る惡るく十五對零で慘敗した

鄕土の美飾 彩華眼を奪ふ 七夕の繪葉書
福島民報支局長の考案

福島民報平支局長野澤武藏氏は鄕土平市の新名物『七夕祭』を宣傳紹介する爲昨年七夕祭りの速成繪はがきを發行效果を收めたが本年は市制實施を記念し早くも全市民擧げて七夕祭の新趣向を研究しつゝあり未曾有の盛觀を豫想されてゐるので同氏は觀客唯一のお土産品として或ひは市民の暑中伺ひ、七夕祭案內狀に利用させ宣傳紹介の實を擧ぐるべく極彩色の素晴らしく美麗な七夕祭繪はがきを作成中で二十五日から賣出すことに成つた、實價一組八枚二十錢で大量注文は割引の相談に應ずる由

平消防視察

安達郡油井村消防組幹部十名は今十九日平消防組を視察した

才判長巡視

高野福島地方才判所長は今十九日午後二時五十分着で來平、裁判所を初巡視して住吉屋本店に宿泊、明二十日は白河に向つて出發する筈

平市人事

回出生

△鯨岡字田中山四松崎英雄氏長男敏夫さん
△長橋町二九岩立淺藏氏二男一彥さん
△大町三七石井孝氏三女治子さん

回婚姻

△白銀町一四高橋健也(二六)氏大町三五竹島セキ(二三)さん
△飯野村大字下荒川字砂田八阪部幾代(二二)さん中平窪字桂進二九松崎三千夫(三五)氏

回死亡

△月見町三三加藤辰七氏發女三保子(一八)さん
△長橋町三九井幡喜七氏二女國子(二〇)さん

JOHK

今晩の部

▽後六、三〇 子供の時間 兒童劇「遲刻した三ちやん」七つ星の會
▽後六、五〇 コドモのシンブン
▽後七、三〇 講演「足柄訪歐の特別任務に就て」海軍少將小林宗之助
▽後八、〇〇 謠曲「鉢木」梅若六郎その他
▽後八、三〇 民謠組曲「祇園會」渡邊はま子その他
▽後八、五〇 浪花節…靜岡縣見付町磐田座より中繼「次郞長と森の石松旅日記」玉川勝太郎
▽後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 産業メモ 氣象通報 番組豫告

明日の部

▽前六、三〇 基礎英語講座 鹽谷榮
▽前七、〇一 朝の修養「列子講話」小柳司太
▽前一〇、三〇 母の講座 復習のお相手「算術」池內房吉
▽後〇、〇五 マンドリン合奏
▽後〇、三〇 國民歌謠 藤堂顯一郞
▽後一、一〇 他士崎神明社祭典實況
▽後六、〇〇 講演「通商交通及文化史上に於ける日英關係」武藤長藏
▽後六、三〇 歷史物語「平野國臣」LKコドモ會
▽後七、三〇 夜店風景 仙臺市東一番丁中繼
▽後八、〇〇 義太夫「合邦」竹本旭嬢
▽後八、三〇 連續科學小說「地球盜難」江川宇禮雄他
▽後九、〇〇 講演「岡村部隊の狀況」濱田弘 講演「北支事變に就て」柴山兼四郞

開店
眼鏡專門の店
七月六日より生れました
自覺視力試驗の設備もあります
御自由にお試し下さい
各眼科處方調製
メガネ專門 平市二丁目 玉屋眼鏡店

七夕祭りの 彩色繪はがき
今年の七夕祭は!! 輝く市制を記念し各位いづれも競ふて新趣向を御研究のことゝ存じます
先進地仙臺市を凌ぐ鄕土の新名物を宣傳するため昨年七夕祭繪はがきを發賣して絕讚を賜はりましたが、今年は更に一段の精彩を加へるため寫眞原畫を着色しプロセス印刷によつて素晴らしい美麗な原色繪葉書を作成し二十五日から發賣することになりました、今夏の七夕祭を宣傳紹介するため暑中伺ひや七夕祭り御案內狀に是非御利用下さるやう御奬め申上ます
七夕祭彩色繪はがき（十數度色刷）
一組八枚 金二十錢
大量の御注文は特に割引の御相談に應じます
福島民報平支局 平市田町五〇（電話六一二）

白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
（新興）市施長春
村瀨春映

二〇六 二人づれの旅（九）

五左衞門と半之丞は又互に顏を見合はせた。

『佐久氏。お互の後にはやつぱりいろ〱の敵が纏つて居るやうぢや。すこしも油斷が相成らんぞ』

『どこまで役人といふものは執拗くつきまとふか判らんな』

『それは致し方もないことぢやお互がすつかり良心を捨てゝしまふまではな。はゝゝゝゝ』

と、五左衞門はいかにも擽つたいやうな苦笑ひをした。

半之丞も微笑をつくつてゐたが。うつかりと釣り込まれてやつぱり苦笑ひを洩らしたのであつた。

『いや。さう云はれると、俺は殘に面目ないやうな氣持がいたして相成らん。云はゞ俺は御身達に裏切つたも同じことぢや』

五左衞門はいかにも云ひ惡さうに伏目になつて、低い調子で云つた。

半之丞は怒る五左衞門から、妻と兒の生活を救ふために、血を吐くやうな苦しい思ひをして、流浪の旅に出たことを聞いたので、むしろ切ない五左衞門の身の上に同情の涙を催さゞるを得なかつた。そして、自分にも妻や兒があつたならば、虎の尾をふんでゐるやうな危險な政治的陰謀から遠ざかることが出來たかも知れないと、自分の頭腦孤獨が呪はしい程にも惱ませられた。

―その夜。五左衞門の座敷で、お膳の酒をうけながら半之丞は、久し振りで酒の香に浸ることが出來た。

五左衞門のやうに、公儀の任務を帶びてゆく旅でないだけ半之丞の旅は、苦しさと淋しさが其の胸にふかく喰ひ入つてゐたのであつた。

半之丞は悠然と醉ふて來た。

『酒は飮みはせんかな』

と、五左衞門は眉をひそめながら訊いた。

『何。大丈夫ぢや。たゞ江戸を立つて以來久し振りで酒の馳走になつたのでな。すこし醉ひ過ぎたやうぢや』

『これんばかりの酒で……』

『俺は御身のやうな餘裕のある旅ではないから。めつたに酒などは口に入らない。それに酒の味にも氣を配る浪人の身ではなあ』

『松平氏。俺は御身が羨ましいぞ』

『馬鹿な。俺は寧しくてならんのぢや』

『いや。御身の選ばれた道は、人間としては或は正しいことかも知れんのぢや』

『しかし、妻や兒のことは私事ぢや。政治の上の心の變化は公事ぢや。所謂大義名分ぢや。妻や兒のことなどは顧みては居られんのだが…やつぱり俺は志が弱いのぢやのう』

『それは何とも判らん』

と、半之丞は氣の毒さうな顏をして、五左衞門の聞えてゐる面色をじつとのぞき込んだのであつた。

サラ〱と國立の上を渡つてゆく野分の音と、物悲しく鳴いてゐる虫の聲に包まれてゐる山中の旅人の嘆みであるか。尺八の妙なる調が溫泉宿の近くに聞えた。

傘形の物干

室内やあき地の狹い所で

利用すれば便利

空地のたくさんあるところでは、おせんたくの物干場も相當廣く樂にとることが出來ますが、敷地にゆとりのない場所では、物干し場もおもふやうにまゐりません

◇

さういふところでは傘形の物干しがたいへん好都合です、傘形といつても實際は傘を逆にした形のものですが、これですと外の小さな空地でも比較的都合がよく、また室内でも工合がよろしい

◇

不用のときは、四邊の綱をとほしてある支柱をたゝんで、どこへでもしまつておく事が出來ます、家の中では特別に窓を用ふる必要がありますが外でしたら空地の適當なところに太目の竹をいけこんでこれへ柱を樹てる樣にするとよい

◇

太陽光線のさし工合によつて、ぐる〳〵まはして乾燥をさせます、手細工で簡單に出來ます（洗濯資料研究所談）

[illegible]常識

人と話をしてゐる時頭をかいたり爪の間の垢を親指の爪ではじきだす娘さんがありますが、興ざめものです。勿論本人は一種の癖で無意識にしてゐる事ですが、あれは非常に無作法になるものです。いやな感じをあたへ、お見合などにうつかりこの癖が出やうものなら、トタンに破れてしまひますから、氣をつけて直して下さい

趣味の實用化
扇子と團羽
光琳調と俳味氾濫

○―絽物の單衣をすゞしげにまとひ、帶の間にかるくはさんだ扇子―また紙の香りもほのかなゆかたに着かへて夏の涼みには缺く事の出來ないウチワなど―實用品とは云ひながら、やはり趣味ゆたかなものであつてほしいのです殊に扇子は訪問にも公式のあつまりにも持參し、一種の裝飾でもありますので、それだけに趣味も吟味する必要がございます

○―今年の傾向としては、一時大流行をきはめた絹張り扇めんがすつかりすたれて上質の日本紙を使つた、手ざわりもつめたく風のよく立つ古風なものが復活して來たことです、模樣は思ひきつて華美なものと光りん調の古代模樣のもの二種あり、銀、桃色、水色、クリームなどを配した五色の水のながれや、群青やエンヂ紺地に思ひきつた寫生風の模樣なども出てをります

○―しかし何といつても昔ながらのしぶい網代や竹、盃その他古めかしくとも常に新しい感觸をもつものが喜ばれてゐます、骨の數は昨年より十本もふえ、朱ぬりやべに油のなども多く、高級品では白檀つ骨などですが、しかしやはり竹製が一般的でせう、値段は六、七十錢から二圓前後が多く、五、六圓のものは高級品になります

艶と明るさ
話上手より聞き上手

近代女性の會話作法

○―「靜の美から動の美へ……」とにかく完成された美への階段にはこれもまた大切

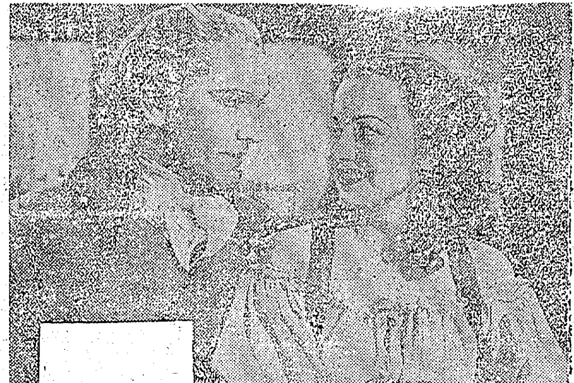
○―まづ表情ですがいかに表情美とはいへ、まるでスクリーンからぬけでたやうな表情は鼻持ちなりませんそのときのふん圍氣より行すぎもせず、とゞかなくもないといふ所謂適度な表情均整のとれた表情をよしとします、といふ意味で鏡にむかつて研究をなさつてごらんなさい

○―目、口、顔等々がその言葉を表現するのに最も適してゐますがよろこばしい話をするとき肝腎なあなたのひとみがかゞやきをうしなつてゐやしませんか、聲の場合においてもまた然りでその内容にマッチした聲の表情がほしいものです、音樂的に美しい聲が必ずしもよき聲の表情とはいへません、うたふ聲は自から分れるものです頭のてつぺんから聲をださぬこと（黄色い聲）くちびるのさきから出さぬこと（つぶやき聲）鼻から出さぬこと（鼻聲）いつも正常なのどからだすことです、語尾を明瞭にわるい聲なら惡いなりにつやをもたせて

○―そして相手の眼をみる事、うつむいて話す事はかへつて相手に不安を失することになります。もつとも氣をつけていたゞきたいことは自分の話す事を急にして相手の云ふ事をおろそかにきくといふ事で話上手より聞き上手といふのが會話の第一課でせう、最後にその時の表情思想を表現するにどう云ふ言葉がもつとも正確でうつくしく効果があるかと云ふ事を心掛けておくべきです、で始終豐富な話題を持合してゐらつしやる事もまた肝要と申されませう

○―昔は寡黙少に、うつむき加減にお話しするのをしほらしいとされて、處女のもつ美點の一つとされてゐましたが、現代の娘さんにもとめるものは明朗性ですね、一寸逢つてお話してもはき〳〵と受け答へをされるのはうれしいものです、イエスかノーか明瞭なのがいいです

○―と云つても餘りフラッパーなのは御免かうむりたいとおもひます、調子の高い聲をだして目上の人の前もはゞからずにおしやべりをするのはみにくいもので品性までも疑はれる事になります、明朗ではき〳〵してゐる事と嫁らしいしとやかさとは決して兩立しないものではありません



晝着る浴衣と夜のゆかた
着付も柄も違へることを御存じですか？

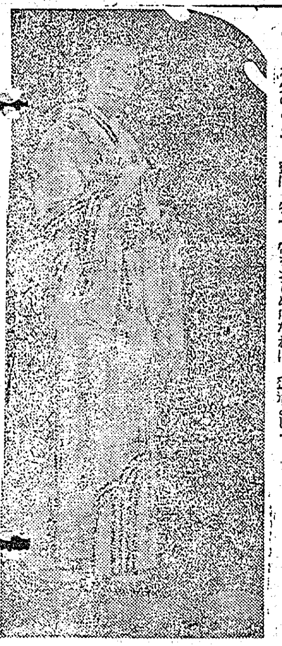
夏 の涼味、ゆかたのシーズンがまゐりました。ゆかたは昔は完全に夜の湯上りとしてのみ用ひられたものですが、近頃では晝間の一寸した買物外出および家庭着としても盛んに着られるやうになつてまゐりました

で ゆかたを晝着として用ひる場合には、夜のゆかたとおなじ調子ではいけないと云ふことは、必ず心得ておきたいとおもひます

まづ晝着としてのゆかたは、できるだけゆかたらしくないものでなくてはなりません。野趣の湯上がりのやうな白地だとか、派手な柄物は絶對にさけ、できるだけ地味加減の小模樣をえらびます。地質は紅梅織、縮緞、ジョーゼットゆかた等がよいのでせう

着 付けも、ゆかただから襦袢や足袋はいらないと云ふのも、夜分のことで、晝間、特に外出時とか來客の場合には、足袋ははくべきでせう、襦袢も暑苦るしい感じのしない樣、襟をごく細目に、袖も短い半襦袢にしたのをお召になること。帶も半巾でなく七寸五分位の中巾帶をおしめになれば、理想としても、決して不調和ではありません

夜 に湯あがりや夕すゞみのゆかたには眞岡、手拭地、ちゞみ等の地質が涼味をよびませう柄もぐつと派手目で結構ですが、たゞ白地ゆかたはホンの湯あがりには誰にもよろしいが、肌の黑い人には散歩や涼みにはお召にならない方がよいでせう。着付けはぐつと拔き衣紋に、半巾または中巾帶をひく目にしめ、足袋はお召にならぬこと、襦袢はお召になるにしても、襟や袖口が人目につかぬやう、すべてスツキリとした感じをだすべきです（吉田不二氏）



海外笑話
五十六年間斷食
十二で後家の婆さん

○…斷食の世界記録がインドのベンガルにすむギリヴアルド・デヴイといふ今年六十九歳のお婆あさんによつて打ちたてられた

彼女は五十六年間水と藥の外何もとらないでいきて來たのである、彼女はベンガルのペンクラから約五十マイルの寒村にすんでゐる

○…彼女はこれまで病氣にかゝつた事がなかつた

おばあさんは十二歳の時に結婚したが、結婚後數ケ月で後家さんとなり、それ以來再婚

○英國の獸醫協會の統計によれば、馬の長壽レコードは六十二歳。馬も長生きすれば人間位生きるものである

○にんにくの殺菌力は昔から有名だ にんにくの有効成分は二百倍にうすめても五分間でチブス菌を死滅さすといはれる

[illegible]めんには、五回に北野天滿宮、十回に靈王神社、二十回に談山神社、百回に法隆寺が刷られてある

○「宵の明星」「明の明星」は別々の星でなく同一の金星だ 金星は星の中で一番明るくひかるので容易にわかる

○汽船や軍艦につみ込んでゐる飲料水がくさらないのは一つには常にゆられてゐるからで、川の水がくさらないのと同じ

日焦けは健康者だけか
體質との關係

「日やけするのは健康者で、呼吸器のわるい人とか貧血の人は眞つ黑にならない」といふが本當かといふ御質問や、日やけと體質のことをおき合せの方がありますので有名な博士におきゝしました

そのお話によりますと、日やけと體質の關係については發表するに足るだけの研究は未だ我國にもないさうで、結果からいふと日やけは誰でもおなじやうにするさうです。たゞ肺のわるい方とか不健康な人は日光にあたる機會が健康な人より少いといふ結果、健康な者は日やけするといはれてゐるのでないかとおもふ

もちろん誰でも日にやけるから自分も眞つ黑になつておらうなど考へて病身な人が健康者と同樣にこの直射の日光をあびるのは感心しない、やはり日やけしないやうにするのがこのましいとの事です

即席三色つけもの

大きかつたら二ツ割のきうりとキャベツを適宜にきざんで鹽もみにする、そのまゝでもよし二三分間かるい押をするもよし、シソの葉を細かく切つたのをぱらッ〳〵と一緒にもみこんですぐたべるもよし

古漬風なら、自分のすきなやうにうすくも細かくでも、きざんでよく水であらひ、こまかくした紅セウガをパラ〳〵ッとふり

護れ太平洋の波
寺島柾史（作）　村瀨春映（畫）

……二〇六……

大きな收穫（四）

クーパー博士は自分の室へ引きさがつた。

そこには、らしやめんお瀧がゐた。

お瀧は彼をむかへても憂鬱な表情だつた。

博士は、お瀧の横たはつてゐる寢椅子のそばへゆき

「お瀧しやん」

とやさしく云つた。

彼女は瞼をあげた。けれど、物云ふ事ができない。いや物いふことが出來ないばかりか、魂までぬけ去つてゐる。彼の手にかゝつて生きた屍となつてゐるのだ。

博士は、お瀧の存在をすら忘れてゐたのだ。東洋の旅行中に、日本の若い女性に接して、はじめてお瀧のことをおもひだした。

日本の都會の女は、多くは映畫やレビューの影響をうけて、はなはだしく西洋カブレがしてゐる。服飾外觀だけではなく、その精神までがアメリカニズムの影響をうけてゐる。だのにアメリカに住んで、アメリカの生活をしてゐるお瀧が、かへつて日本の傳統精神をまもつてゐるやうに感じられた。

彼は、お瀧から、汚女、賣女のお瀧から日本人の精神美といふものを感じた。

で、彼は久々に彼女に會ひたくなつて、同じ地下十三階の自分の室を飾裝してはじめて訪れたわけだ。

そのお瀧は生ける屍だつた。

博士は彼女に對して、いや科學を冒瀆してゐる事を知つた。

「おゝ、わしは惡かつた。お瀧しやん、ゆるしてください」

博士は彼女の手をとつた。しかし彼女の瞳は、ガラス玉の樣に無表情だ。

「お瀧しやん、でも、あんたはよく死なずにゐてくれたね、助手にあんたの身の廻りの事をよく命じてわしは東洋に旅立つたが、でもよく壯健でゐてくれたね」

彼女の手を執つたまゝ、右手でお瀧の髪をなでゝあげてやつた。不思議な愛情を彼は身内に感じた。

「さあ、もう心配する事はいらない。わしは徹底に、お前を愛した。わしは、お前によつてにんとうの人間としてよみがへる事が出來さうだ わしは今後は純な科學者として更生するのだ ピコル氏と訣別して來たから安心するがいい」

それから彼は獨言の樣に

「わしは罪を犯してゐたぞ。科學者としての、神からあたへられた特權を濫用して、罪なき人を盲目にした。おしにした。魂までもぬきとつて生ける屍とした。その罪は重い。わしは罪のつぐなひとして今後は科學をもつて、世界人類をすくはねばならぬ。その手はじめにあんたを元の美しい女性にかへしたい」

そして彼女をつよく抱いた。

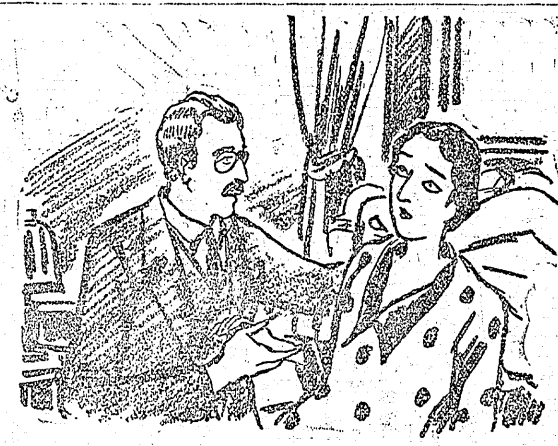
博士は、やがてお瀧の手をとつて立上つた。同じ地下十三階の研究室へ彼女をともなつて、そこで彼女を元の生きた美しい女性にかへさうといふのだ。

「ね、お前は美しい女だつた。賣笑婦だが魂までもくさつてはゐなかつた。お前の故國の、都會の若い女は、賣笑婦や貧民たちを輕蔑しながらも、自分たちはその賣笑婦や貧民達よりも下賤な行状を平氣でしてゐる。わしはお前の故國の若い女性達に失望したが、賣笑婦のお前にはまだ失望はしないよ お前には、こゝろの美しい一面がある。わしはそれをみとめる。ピコル氏と戰爭企業に奔走してゐたころは人間の美點を發見し、それによつて自分自身の精神のたてにしようとはいさゝかもおもはなかつたが、いまピコル氏と訣別してはじめてわしは人間の美點をさがすことに興味と熱情を感じはじめた。さあわしはよみがへつた。そこで今度はお前をよみがへらせなければならぬ」

研究所へやつて來た。

ところが、そこにはウルリツヒ老技師の姿が見あたらぬ。見あたらぬも道理だ。すでにピコルやクーパー博士に愛想づかしして、何處へか去つたではないか。

「しまつた」博士はさけんだ。



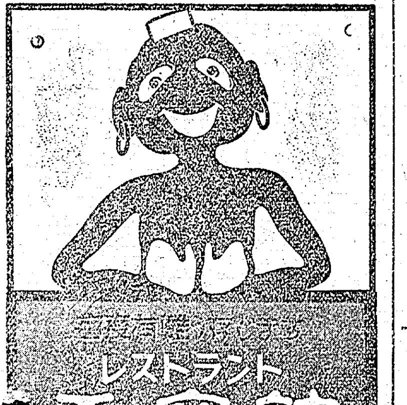
初夏の氣分と
行届いたルーム
お出を
お待ち致します
珈琲と御食事
グリル
バッカス
電七〇二
●女店員募集

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流謠曲仕舞
白土會
電話一二七番

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
旅舍
大幸館
主人　比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

耳鼻
咽喉
科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）


良酒と洋食
經濟本位
レストラント
平宮舗
電624

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車
無料乘車券サービス

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸本、矢内自動車店に御座ます。三人様以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

吉田眼科醫院
平紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平市紺屋町
電話三六六番

吸入用酸素　純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體温計
寒暖計
秤ノ取締・垂糸・修繕致シマス
寫眞材料一式販賣致シマス
關内藥局
電話四〇番

花柳病科　外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際　電話三一九

小瀧へ!!
◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料　.20
◇自炊料　.50—.80　入湯料・室料 夜具料一切
◇料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効　神經痛.リウマチス.胃腸病.痔疾.婦人病.逆上.中風.肥胖病
（内務省東京衛生試驗所指定濟）
◇諸設備　撞球臺.高級ラヂオ.大廣間.讀書室.近代式浴場と洗面所.水洗式便所.小動物園.タクシー部.御子樣運動器具
◇名物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂蜜羊かん
●女中數名入用●
常磐線湯本驛　小瀧鑛泉
御旅館
御自炊
瀧の湯
電話（小名濱）103番

新研究の榮養化粧水
三共パパコロン
新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本　35セン
育毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油（¥.60）もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム　アツキアイス
ミルクセーキ　ソーダ水
クリームソーダ　其他氷水各種
相始めました、是非夏の夕の御散歩廻りに御立寄り下さい
出前迅速
藤寅
平市二丁目　電一四一番

夏！夏！
スガ〳〵しい姿を撮影するのもよいものです
是非！御來館下さい　小型六枚五十錢より割引致します
◎晝夜撮影
親切　丁寧　迅速
宮田寫眞館
平市鍛冶町　電（呼）二四六番